

巻頭言 一 家族のみなさんとともに赤ちゃんへより良い医療を提供するためにー

皆さま、新生児集中治療室（NICU）をご存知でしょうか。NICUには、生まれた時に何かしらの病気がある赤ちゃんや、出産予定日より早く、小さな体重で生まれた早産低出生体重児が入院します。日本では毎年約5%の赤ちゃんが早産で出生しており、決して稀なことではありません。新生児死亡は世界的な課題となっており、SDGsで設定されている目標の中にも、“2030年までに新生児および5歳未満児の予防可能な死亡を根絶する”ことが掲げられています。

NICUの診療は、医師や看護師だけではなく様々な職種の人たちが協力して一つのチームを作り、集中治療を行います。そして、このチームにおいてはご家族も重要なメンバーだと考えています。ご家族の存在が赤ちゃんに大きな力を与えます。赤ちゃんに安心と愛情をくださることは、赤ちゃんの健康な発育のために大変重要です。そのような場面に出会うたびに、ご家族の力はNICUの診療にとって、なくてはならないものだと思信します。

コロナの感染拡大により、面会制限が一般的となり、ご家族と医療者の分断が起きてしまいました。しかし、この感染拡大の時にも我々に力をくれたのはご家族でした。NICUに入院したことのある赤ちゃんの家族会は、“zero separation（家族分離ゼロ）”という提言を出していました。コロナ禍においてもこの信念を強調し続けてくださったことにより、世界中の医療者が大きく勇気づけられました。当院では、比較的早い段階から面会制限の解除を進めていくことができましたが、これも病院全体で「家族分離ゼロ」の重要性を共有し、皆で赤ちゃんに対してできることを考えた結果であります。

11月17日は「世界早産児デー」と定められており、早産を多くの人に知ってもらうため、イメージカラーである紫を用いたイベントが行われております。これも家族会が始めたものです。



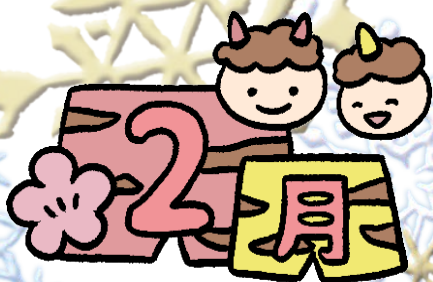
当院でもこの理念に賛同し、3年前から活動を開始しました。2023年には左の写真の通り、正面玄関を紫色にライトアップすることにより、多くの方に世界早産児デーを知っていただくことができました。

当院は、今年の4月よりNICUの病床数を9床から12床に増床し、これまで以上に多くの患者さんの受け入れが可能となります。地域の周産期医療にさらなる貢献ができるように頑張っていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。



＜こどもセンター＞
村瀬 正彦 准教授

- P1. 【巻頭言】 一 家族のみなさんとともに赤ちゃんへ
より良い医療を提供するためにー
- P2～3. 【医学講座コーナー】 婦人科がんについて
- P4. 【お知らせ】 石川県へのDMAT派遣について
がん患者サロン「きぼう」について
- P5. 患者さんからのご意見・ご要望
- P6. 【お知らせ】 院内無料Wi-Fiの利用について
【編集後記】



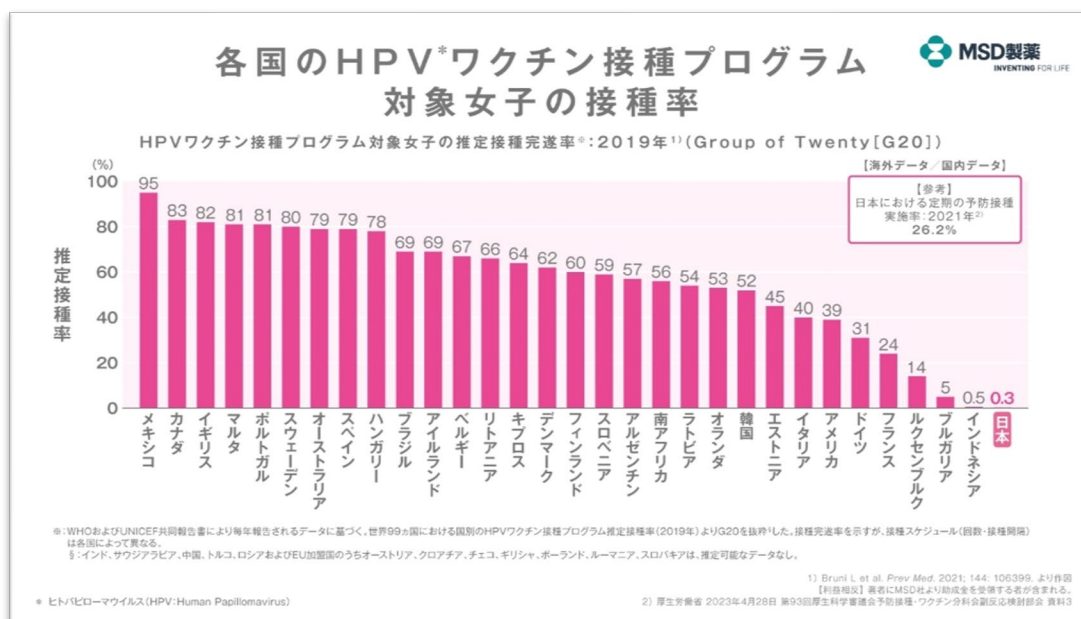
婦人科がんについて

婦人科では主に女性特有の臓器である子宮、卵巣を取り扱います。子宮は頸部（子宮の下から3分の1ほどの腔につながる部分）と体部（上の部分）に分けられ、子宮頸部には子宮頸がん、子宮体部には子宮体がんが発生します。卵巣（子宮の両側に位置する器官）に発生するがんが卵巣がんです。それぞれのがんには特徴的な症状があります。

子宮頸がんについて

子宮頸がんは子宮頸部に発生するがんです。以前は発症のピークが40歳～50歳代でしたが、最近は発症年齢が低年齢化しており、30歳代後半がピークとなっています。

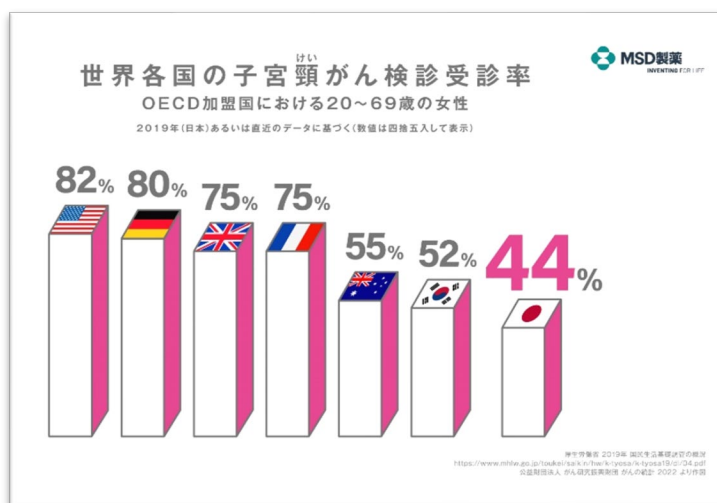
ほとんどの子宮頸がんは、ヒトパピローマウィルス（HPV）というウィルスの感染が原因であることがわかっています。近年、HPV の感染を予防する HPV ワクチンが開発され、世界の70カ国以上で接種が行われています。日本においても2013年より定期接種となっていますが、欧米先進国に比べ、接種率が低いのが現状です。今後 HPV ワクチンの接種が進めば、かなりの数の子宮頸がんが予防されることが期待されています。



子宮頸がんは通常早期にはほとんど自覚症状はありませんが、進行すると月経以外の出血や、性行為の際の出血などの症状が現れます。

早期発見をするためには、婦人科がん健診で子宮頸部の細胞診検査を行うことが重要です。細胞診検査でがん細胞を認めた場合、内診や画像検査（CT、MRI など）を行い、がんの進行期を決めます。

治療方法は手術療法、化学療法（抗がん剤）、放射線療法となります。病気の進行期、患者さんの年齢、ライフステージを考慮し、患者さんに最適な治療方法を選択していきます。



子宮体がんについて

子宮体がんは子宮体部に発生するもので、我が国の成人女性に増えてきているがんのひとつです。多くの子宮体がんの発生には、エストロゲンという女性ホルモンが関わっています。出産したことがない方、肥満の方、月経不順がある方などは、女性ホルモンの暴露量（体に取り込む量）が多いため、子宮体がんのリスクが高いとされます。

子宮体がんは、不正出血をきっかけに見つかることが多いです。特に閉経後の不正出血には注意が必要です。このがんを疑った場合、子宮内に棒状の器具を入れて細胞を採取します。子宮頸がんと同様に画像検査（CT、MRI など）を行い、がんの進行期を推定します。

治療は基本的に手術治療となります。子宮、卵巣、卵管、リンパ節を摘出するのが基本ですが、条件を満たせば、体への負担が小さい^{ていしんしゅう}低侵襲手術（ロボット手術や^{ふくくうきょうか}腹腔鏡下手術）も可能です。術後の病理検査の結果によっては、化学療法（抗がん剤）が必要となる場合もあります。

子宮体がんは、早期に治療開始できた場合には比較的予後の良い病気です。早期発見、早期治療が重要となります。

卵巣がんについて

卵巣は子宮の両側に位置する、卵子の生成や性ホルモンの分泌を行う器官です。卵巣がんは卵巣から発生します。40代から増加し始め、50～60代でピークを迎えます。卵巣がん患者数は近年増加傾向にあります。一部の卵巣がんは遺伝子に変異があると発生しやすいことが知られており、血縁者に乳がんや卵巣がんの罹患者が多い場合、遺伝子変異を認めることもあります。

初期の卵巣がんは自覚症状に乏しく、子宮頸がんや子宮体がんのように直接細胞を採取して検査するのが困難であるため、気づかれにくいがんだと言われています。

卵巣がんの診断は超音波検査、画像検査、血液検査（腫瘍マーカーなど）を行い、卵巣がんが疑われる場合は手術を行い、摘出したものを病理検査することにより診断がつきます。子宮頸がんや子宮体がんのように直接組織を採取するのが困難であるため、診断が容易ではありません。

卵巣がんの治療は、基本的に最初に手術を行い、最大限に病変を取り除いたのちに化学療法を行なっていきます。他のがんと同様に、早期に治療を開始することで高い治療効果が望めます。

まとめ

婦人科がんは早期発見・早期治療によってより良い予後が見込めます。定期検診や、不正出血などの症状がある際の受診が早期発見につながります。

また、子宮頸がんはHPV ワクチンの接種により高い予防効果が見込まれます。正しい知識のもとで、積極的なワクチン接種をお勧めします。



【お知らせ】石川県に DMAT を派遣しました

令和6年能登半島地震の被災地支援のため、医師1名、看護師2名、業務調整員2名（薬剤師）で構成された災害派遣医療チーム（DMAT）を1月17日（水）から1月22日（月）まで能登中部医療圏へ派遣し、被災地で活動を行いました。

活動の様子は、当院ホームページにも掲載いたしました。



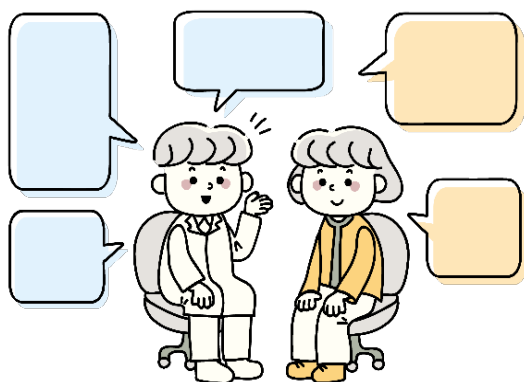
派遣準備の様子



出動した DMAT 隊員と門倉病院長

【医師1名、看護師2名、業務調整員2名（薬剤師）】

【お知らせ】がん患者サロン「きぼう」について



がん患者サロン「きぼう」の開催が2月15日（木）に決定いたしました。

今月のミニレクチャーのテーマは、「就労支援・社会資源」と「今後の療養先」です。「放射線治療ってどんなことをするの?」「どんなことに注意して生活すればいいの?」などの疑問について、お話をする予定です。興味のある方は、ぜひご参加ください。

開催日時：2月15日（木）14:00~15:00（予定）

開催方法：中央棟9階会議室（オンライン参加可能）

ミニレクチャー：「就労支援・社会資源」「今後の療養先」

（申込方法については、右記QRコードまたは病院ホームページをご覧ください。）

お問い合わせ：中央棟1階100番 総合サポートセンター・

がん相談支援センター 045-949-7000（代）



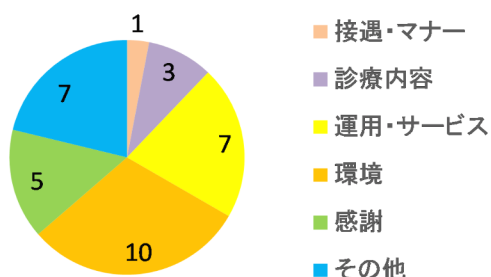
患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんよりご意見箱にいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に、改善策を掲載させていただきました。

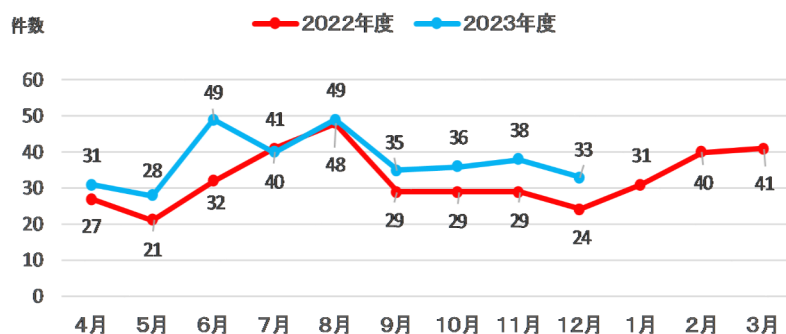
掲載されていない内容につきましても、別途対応しております。

ご意見・ご要望	回答・改善等
北部病院の代表電話がつながりにくい。 午前中は、ほぼつながらない。 2年前から改善されていないので、早急の改善を望みます。	ご意見ありがとうございます。 大変恐縮ではございますが、回線数には限りがあります。 なお、診療予約に関することでしたら下記の予約センターにお問い合わせください。 【予約センター】 電 話：045-949-7489 F A X：045-949-7137 メール：当院ホームページの専用フォームから直接発信できます 以上、ご理解のほどよろしくお願いいたします。 (回答部署：管理課)
エレベーターの中にイスを置いてみてはどうだろう。 温泉ホテルでよく見られるものである。 病院は、ケガ人や高齢者も多いので。	ご意見ありがとうございます。 以前に転倒の原因となった事例があるため、医療安全上、エレベーター内に椅子を設置しておりません。各駐車場エレベーターホールに車椅子を用意しておりますので、そちらをご利用ください。 申し訳ございませんが、ご理解の程よろしくお願いいたします。 (回答部署：管理課)
院内処方でQRコードを発行してもらえないでしょうか。 スマートフォンで処方薬を管理しているので、QRコードがないと不便です。	ご不便をおかけしております。 現在はスペースの都合上、処方薬の説明用紙にQRコードは載っておりません。今後の検討課題としてまいります。 貴重なご意見ありがとうございました。 (回答部署：薬剤部・医療情報室)

2023年12月
ご意見箱に投函された
ご意見・ご要望の総計33件



2022年度-2023年度
ご意見・ご要望の推移



【お知らせ】院内無料 Wi-Fi の利用について



院内掲示用

FREE Wi-Fi

院内で無料Wi-Fiが利用できます

Wi-Fi名 : Showa_Hospital-FREE-WIFI

パスワード : showa#8000

【ご利用にあたっての注意点】

- ・このWi-Fiは当院をご利用の患者様へのサービスです。病院内での使用を原則とし、使用料は無料です。
- ・Wi-Fiを利用するための端末準備及び設定は利用者で行ってください。
- ・限られた通信容量で他の利用者と同時にご利用いただくため、通信が遅くなる、または接続しづらくなる場合があります。

【規約同意文】

- ・Wi-Fiの利用によって生じたあらゆる損害、他の利用者や第三者との間に生じたトラブルについて、病院は一切の責任を負いません。
- ・利用者がインターネット上で利用した有料サービスについては、利用者が費用を負担するものとします。
- ・サービスの中止により、利用者または第三者が被ったいかなる損害について、病院は一切の責任を負いません。



QRコードを読み取ることで
Wi-Fi名・パスワードの入力を省略できます。



昭和大学
横浜市北部病院



この度、院内でご利用いただける無料Wi-Fiを導入いたしました。外来と入院病棟のいずれでも接続可能となっておりますので、院内での待ち時間などに、ぜひご利用ください。

左記のQRコードを読み取ることで、簡単にご利用いただけます。

QRコードの読み取りがうまくいかない場合には、Wi-Fi名とパスワードを入力することでもご利用いただけます。左のポスターは院内各所に掲示しております。



編集後記

2月となりました。そろそろ春の暖かさを感じたい時期ではありますね。冬は皮膚の乾燥が厳しい季節です。まだ暖房器具が手放せない時期であり、冬のかさかさには保湿が手放せません。こたつやエアコンなどで皮膚の水分も蒸発しやすいため、乾燥トラブルが生じやすくなるといわれています。保湿スキンケアには、日ごろから私も気をつけております。

さて2月の行事といえば、バレンタインデー！大好きな行事の一つです。チョコレートの食べ過ぎには、みなさん気を付けましょう。私もチョコレートを食べ過ぎて、にきびができてしまった経験があります。そんな楽しい行事のことも考えつつ、2月も頑張りましょう。

(皮膚科 須永 知里)

北部病院だより 第188号
2024年2月1日発行

発行責任者 門倉 光隆 (昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 緒方 浩顕 (広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : <https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。

